

やまびこ



(社)愛媛県栄養士会病院栄養士協議会編集

「やまびこ」に乗せて！

病院栄養士協議会 会長 藤井 文子

愛媛県栄養士会病院栄養士協議会では年に 2 回「やまびこ」と命名した情報誌を発行してきました。第 93 号を最後に紙面での配布は終了し、ホームページに移行することとなりました。紙面での定期的な配布とホームページでの掲載にはそれぞれメリット、デメリットがあると思います。ホームページに移行することのメリットは全国どこからでも見るのが可能であること、新入会会員にも過去の掲載物が確認できること、経費の節減が可能となること、配送作業が必要なくなるなどがあげられると思います。

この情報誌は病院栄養士協議会の役員が中心となり作成しております。作成、発行には役員や会員の貴重な時間をいただいております。病院勤務が複雑化し、勤務時間内ではこなせない業務が多くなるなか、ホームページ移行を決定させていただきました。

「やまびこ」にはブルーランドサマーキャンプ（小児糖尿病対象のキャンプ）などの身近な話題や全国医療事業部（旧病栄協）、中四国医療事業部の話題、学会予定などを掲載してきました。

平成 24 年 10 月からはホームページもリニューアルされ、会員および一般の方からアクセスしていただけるような情報を多く掲載するための議論も愛媛県栄養士会の理事会でなされています。

愛媛県栄養士会も平成 24 年度中には公益法人に移行する予定であり、栄養士会員にのみならず、一般市民に向けての情報提供が必要になりました。病院栄養士協議会では「羅針盤」と「やまびこ」をホームページに移行し、対応していきます。電子媒体のメリットを生かせる運用ができるよう、今後も会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

「やまびこ」の命名の由来は、山々で起こる声が反響するように、栄養士の間でも心を響かせ、コミュニケーションをとっていこうという意味であると聞いております。創設当時の一色保子病栄協会長（現、愛媛県栄養士会顧問）が新幹線「やまびこ」の中で思いつき、会員に伝えたい湧き上がってくる数々の気持ちを情報誌「やまびこ」に乗せて広報したことが始まりです。今後は、栄養士のみならず、一般の方にも病院栄養士の取り組みや活動を理解していただけるものとなることを祈っています。

今後とも、愛媛県栄養士会のホームページをのぞいていただきますようお願い致します。

研 修 報 告

研修名：平成 24 年度 日本栄養士会医療職域事業部スキルアップセミナー

日 時：H24.10.13（土）、10.14（日）

場 所：東京医科歯科大学

内 容：平成 24 年度診療報酬改訂のポイントや栄養管理計画、病態別の栄養管理について

「平成 24 年度診療報酬改訂のポイント」

講師 公益社団法人日本栄養士会医療職域事業部企画運営委員長 石川祐一先生

1・【栄養サポートチーム加算（週 1 回） 200 点】改訂

- ・ 多職種が連携したより質の高い医療の提供や、病院医療従事者の負担軽減に寄与する取り組みの評価であり、結果が出れば今後精神科も対応可能となる可能性もあり。

2・【糖尿病透析予防指導管理料（月 1 回） 350 点】新設

- ・ 算定は医師、看護師、管理栄養士の 3 職種が同日に指導行うことが必須。全体の指導時間に関しては指定なし。届出者名と一致していること。
- ・ 管理栄養士 5 年経験の解釈については、実際患者さんに接して指導を行った経験年数である。
- ・ 糖尿病教室等は定期的実施していること。しかし、糖尿病教室等で複数の患者に同時に指導を行った場合には算定できないため、必ず個別指導を行う。
- ・ 栄養サポートチームの専従でない医師、看護師、管理栄養士は兼任が可能である。
- ・ 糖尿病合併症管理料との併算定は可能。

3・【栄養管理実施加算は入院基本料及び特定入院料に包括】簡素化

- ・ 入院患者の入院診療計画書に特別な栄養管理の必要性の有無を記載することとなる。（*）従来の取り扱いでの変更部分。
- ・ 運用は「特別な栄養管理の必要性の有無」が無の場合は、疾患等の施設基準を設ける等、条件を周知しておく。
- ・ 入院診療計画作成時に必要ないと判断した患者が治療途中で栄養管理が必要となった場合、必要になった時点で栄養管理計画書を作成すればよい。
- ・ 緊急入院で「特別な栄養管理の必要性の有無」の「有」になったが管理栄養士が栄養管理を行う頃には死亡退院していた場合でも「有」の患者には栄養管理計画書を作成することが必要。
- ・ 現状で有床診療所の半数で管理栄養士の配置目途が立っていない状況にある。医療事業部での対応として医師会などに管理栄養士による栄養管理の必要性が大切であることを働きかけ、管理栄養士は県にエントリーし離職者の再就職推進などを行う。
- ・ 管理栄養士の配置が可能であるか等の調査研究を実施し、今後の対応を検討する予定。

4・【栄養食事指導の指示及び記録記載について】変更

- ・ 個人指導、集団指導共、指導記録への指導時間を記載する。所要時間でなく実際関与した時間を記載する。外来・入院・集団指導は屋内禁煙が算定用件となる。

文責 社会医療法人同心会 西条中央病院 神原淑恵

【医療安全】入院患者の食物アレルギー情報で注意喚起



『医療安全情報』を見たことがありますか？医療安全室から情報がない場合はインターネットで医療安全情報を見ることができます。初めて見る方は、一度ホームページにアクセスしてみてください。（下記にアドレスがあります。）

2012年8月の医療安全情報は「アレルギーのある食物の提供」でした。患者の食物アレルギーの情報が伝わっているにもかかわらず、栄養部から誤ってアレルギーのある食物を提供した事例9件が報告されています。2件の事例について掲載され、事例が発生した病院の取り組みも書いてあります。

食物アレルギーの場合は、加工品や調味料の原材料を把握してないと間違えて混入する場合があります。給食で使用している食品は原材料表を作って献立作成時に確認する。さらに、調理の段階でも原材料が違う場合があるので食品表示等を再度確認する。調理過程での混入や調理したにもかかわらず最後のトレーのセット時に間違えるなど、いろいろな場面での確認が必要になります。

この機会に一度業務を振り返り、問題点はないか考えてみましょう。

公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故防止事業部

<http://www.jcqh.or.jp/>

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.69 2012年8月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療安全情報

No.69 2012年8月

アレルギーのある食物の提供

患者の食物アレルギーの情報が伝わっているにもかかわらず、栄養部から誤ってアレルギーのある食物を提供した事例が9件報告されています（集計期間：2008年1月1日～2012年6月30日、第25回報告書「個別のテーマの検討状況」(P110)の一部に掲載）。

患者の食物アレルギーの情報が伝わっているにもかかわらず、栄養部から誤ってアレルギーのある食物を提供した事例が報告されています。

アレルギーのある食物	場面	誤りの内容	誤って提供した献立
たけのこ	食事指示確認時	食材禁止コメントの見落とし	豚肉のみそ炒め（たけのこ入り）
山芋			山芋サラダ
甲殻類、魚介類、卵、小麦	調理時	下処理のつなぎに使用	小麦粉の付いた肉炒め
果物		果物入りソースを使用	果物入りソースを使用した焼きそば
魚介類			魚料理（ミキサー食）
乳製品、ハム、ベーコン			牛乳
リンゴ	トレイセッティング時	トレイへの載せ間違い	リンゴエキス入りハンバーグ
大豆			大豆エキス入り高カロリー食
卵、乳、小麦、そば、豆など			豆の入った副菜

アレルギーのある食物の提供

事例 1

入院時、小児科より栄養部に患者の食物アレルギー（甲殻類、魚介類、卵、小麦）の情報提供があった。当日の食事準備完了のため、カレーに肉のみそ炒めを添付した際、卵アレルギーだけに注目してしまい、下処理で肉に小麦粉を付けて調理した。病棟における確認で、カレー味の肉に付いた小麦粉に気づくのは遅かった。摂取後、全身発疹、嘔吐、SpO₂低下、血圧低下、意識レベルの低下をきたした。

事例 2

入院時、患者より乳製品（ハム、ベーコン）についてアレルギーがあるとの申し出があり、栄養士による食物アレルギーの確認と調理を行い、それを禁止とした献立別立てを準備した。この献立は、ソースに付いていたが、間違えて牛乳が配膳された。患者は牛乳でショックの経験があったが、好きなで飲んだ。食事摂取後、洗面台で意識レベルが低下している患者を発見した。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・食事指示確認時、禁止コメントの確認を十分に行う。
- ・食物アレルギーのある患者の食事は、以下の方法などで一般の食事と区別する。
 - 色の付いた専用献立表を使用する。
 - 一般の食事とは別に調理する。
 - 専用の食器や色の違うトレイを使用する。

総合評価部会の意見

- ・食物アレルギーのある患者の食事の原材料を把握するように努める。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例をとり、当事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の発行等の詳細については、当機構ホームページに掲載されている報告書および報告書をご覧ください。
<http://www.jcqh.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたる保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の良書を網羅した、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

J C 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
F101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東邦ビル
電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)
http://www.jcqh.or.jp/

文責：国立病院機構愛媛病院 永井美保

研 修 会 案 内

1. 第 3 回病態栄養を学ぶ会・第 16 回愛媛 NST 研究会

日 時：平成 24 年 12 月 8 日（土）

会 場：南海放送 本町会館

内 容：11：00～13：00 病態栄養を学ぶ会

【レクチャー】「膵炎の栄養管理」（症例に基づくグループワーク含む）

14：00～17：30 愛媛 N S T 研究会

【トピックスレクチャー】「正しい術前経口補水療法のすすめ」

講師：神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科 教授 谷口 英喜先生

【特別講演】「認知行動療法に基づく栄養介入手法～高度肥満例での応用～」

講師：関西医科大学健康科学科 教授 木村 穰 先生

2. 第 16 回日本病態栄養学会学術集会

日 時：平成 25 年 1 月 12 日（土）～ 1 月 13 日（日）

会 場：国立京都国際会館

テーマ：医学に基づいた栄養管理

3. 平成 24 年度（社）愛媛県栄養士会福祉協議会研修会

「平成 24 年度診療報酬改定」に伴う有床診療施設での管理栄養士確保の対策研修も同時に行います。

日 時：平成 25 年 1 月 27 日（日）10：00～16：10

会 場：愛媛県男女共同参画センター

内 容：「有床診療施設における管理栄養士の業務」～栄養管理計画書の作り方～

講師：愛媛県栄養士会副会長 濱田千鶴

愛媛県栄養士会病院栄養士協議会会長 藤井 文子

「高齢者のリハビリを兼ねた口腔ケアについて」

講師：升田歯科医院 升田 勝喜先生（予定）

「胃ろうと尊厳死について」（仮）

講師：えひめ尊厳死を考える会 会長 上田 暢男先生（予定）

4. 第 28 回日本静脈経腸栄養学会学術集会

日 時：平成 25 年 2 月 21 日（木）～22 日（金）

会 場：石川県立音楽堂他

テーマ：『和』～人の「和」・「和」の食・「和み」の心～

5. 第 32 回食事療法学会

日 時：平成 25 年 3 月 2 日（土）～ 3 月 3 日（日）

会 場：軽井沢プリンスホテルウエスト「バンケットホール」

テーマ：命に寄り添う～急性期から慢性期・在宅までの栄養管理～

6. 平成 24 年度愛媛県栄養士会病院栄養士協議会第 3 回研修会

日 時：平成 25 年 3 月 23 日（土）13：00～17：30

会 場：ひめぎんホール 多目的室

内 容：情報提供「認知高齢者の食事行動」

講師：イ・エヌ大塚製薬株式会社 本部教育開発部長 上坂英二 先生

「改めて食事療養を考えるーホテル参入の取り組みを踏まえてー」

講師：愛媛大学医学部付属病院栄養部部長 利光 久美子 先生

「がん・化学療法の栄養管理」

講師：(財)東京都保健医療公社大久保病院外科部長 丸山 道夫 先生

病栄協役員の仕事紹介

病栄協役員は、会長 1 名・副会長 1 名・専門委員 14 名の合計 16 名で構成され、会長・副会長の指示の下、専門委員は主に 1～11 の仕事を分担して行っています。
《 ①活動時期、②活動内容の紹介 》

1. 総務
 - ①随時
 - ②研修会案内文書作成、各種文書作成、事務局・役員への連絡
2. 会計
 - ①随時
 - ②旅費等の支払い準備
3. 病栄協情報誌「羅針盤」の作成
 - ①数回/年
 - ②原稿依頼、文書作成、構成、ホームページ掲載
4. 病栄協情報誌「やまびこ」の作成
 - ①2回/年
 - ②原稿依頼、文書作成、構成、ホームページ掲載
5. ホームページ
 - ①随時
 - ②各種お知らせのアップ
6. ケア・ステーションへの協力
 - ①1回/月
 - ②献立原稿の依頼、構成、ホームページ掲載
7. 愛媛県栄養士会会報「ひろがり」
 - ①1回/年
 - ②愛媛県栄養士会の冊子に文書の掲載
8. 愛媛県糖尿病協会総会への協力
 - ①1回/年
 - ②愛糖協総会での DM 患者用配布資料作成
当日の資料配付・栄養相談の実施
9. 研修会開催の準備
 - ①4回程度/年
 - ②当日の開場準備、受付、司会、講師接待、機操作、片付け等
10. 社会活動要請への協力
 - ①3回程度/年
 - ②市民対象の栄養相談（世界糖尿病デー）、糖尿病サマーキャンプ
11. 電話ネットワーク
 - ①随時
 - ②各地区電話ネットワークを回して、会員への事務連絡・情報提供を行う



平成25年度役員募集中

病栄協では平成 25 年度の役員を募集しています。(今までのような選挙による役員の選出はなくなりました)

病栄協の役員は、支部ごとに 2~3 名選出され現在 16 名で構成されています。役員の任期は 2 年間で、2 年ごとに改正が行われますが、2 年以上役員を継続している場合もあります。役員の仕事は大変だというイメージがあると思われるので、この機会に会員の皆様に役員の仕事を理解していただきたいと思い、紹介しました。役員の仕事は各項目を数名で分担し、個人の得意分野を優先するなど全員で協力しながら行っています。また、(社) 栄養士会が公益法人に移行することによる総会の一本化、また、研修会の地区別開催、積極的な HP の活用などの取り組みにより、負担は軽減されています。

合わせて病栄協では、研修会の準備など一時的なお手伝いをして下さる方も募集しています。負担のかからない範囲で結構です。ご興味のある方、少しならお手伝いできる方などございましたら、役員募集も含めて下記の代表役員にお気軽にご連絡下さい。お待ちしております。

《連絡先》 東予：三島医療センター 尾崎 早苗 副会長

E-mail mishimaeiyou@song.ocn.ne.jp

Tel 0896-23-2515

中予：松山赤十字病院 織田 由紀 総務

E-mail dietitian@matsuyama.jrc.or.jp

Tel 089-924-1111

南予：市立宇和島病院 藤井 文子 会長

E-mail fumifuji@uwajima-mh.jp

Tel 0895-25-1111

締め切り：平成 25 年 3 月末

【編集後記】

今回より「やまびこ」が新たにホームページ掲載となりました。紙面にはなかったホームページの良さを活用し、会員の皆様だけでなく一般の方にもより多くアクセスして頂けるよう、わかりやすく充実した内容にしていきたいと思っております。

やまびこの内容にご意見等ございましたら、担当者までご連絡下さい。

[編集責任者] 公立学校共済組合三島医療センター 尾崎 早苗

[編集担当] 社会医療法人同心会西条中央病院 神原 淑恵

独立行政法人国立病院機構愛媛病院 永井 美保

社会福祉法人旭川荘南愛媛病院 都能 綾子

(E-mail minami-ehime11@asahigawasou.or.jp)

